

C

ごだいどう 五大堂

国重要文化財



🕒 20～30分	☎ 022-354-2023
休 無休	料 無料

松島のシンボルである五大堂は、1604年、伊達政宗により創建されました。もともとは807年に坂上田村麻呂が毘沙門天を祀ったのがはじまりで、828年に慈覚大師円仁が五大明王像を安置したことから五大堂と呼ばれるようになりました。33年に1度御開帳を行っており、今回は2039年の予定です。

五大堂への一本目の橋を渡ったところにある「松島八幡」という小さなお堂は、疫病などの悪疫退散のために建てられたと伝えられています。



五大堂へ渡る透かし橋からは5m下の海面がのぞける

E

おしま 雄島

国重要文化財



🕒 20～30分	休 無休
料 無料	

雄島は平安時代から和歌に詠まれるなど、歌枕として知られていました。この地で見仏上人が1104年から12年間修行し、そのことを讃えた鳥羽天皇から松を1,000本賜ったことが「松島」の名前の由来となったと言われています。

俳聖・松尾芭蕉は歌枕の地を求めて全国を旅し、この松島も訪れました。「おくのほそ道」の記述によると、芭蕉とその弟子・曾良は塩竈から出港し、雄島に上陸したとされています。

雄島に渡る渡月橋の正式な完成時期は分かっていませんが、14世紀半ばごろの絵画にはすでに描かれているものもありました。以前の橋は東日本大震災による津波で流され、現在の橋は2015年に再建されたものです。

D

かんらんてい 観瀾亭

県有形文化財



🕒 30～40分	☎ 022-353-3355
休 無休	料 中学生100円
	高校生150円

伊達家の御仮屋御殿として建てられたもので、もともとは伊達政宗が豊臣秀吉から譲り受けた伏見城の一棟でした。政宗が江戸に移したものを、二代藩主・忠宗が現在地に移し、藩主や家族が松島を訪れた際の宿泊施設などとして使われていました。観瀾は「さざなみを見る」という意味です。現在は一部のみ残っていますが、江戸時代の終わりまでは、宿泊に必要な施設など11棟あまりの建物が存在していました。



桃山文化の息吹を感じられる豪華な内装

資料

東日本大震災の当時の様子

東日本大震災の発生当時、瑞巖寺や町内の各宿泊施設は避難所として被災者を受け入れていました。高台に建つ「ホテル松島大観荘」も、避難所として使われた宿泊施設の一つです。安全のために宴会場にみんなが集まり、ガスコンロ等で炊き出しをし、個室から集めた布団で寝泊まりをしました。断水はしていたものの、食材は週末の分もまとめて仕入れてあったため、数日は心配がいらなかったほどでした。被災から4日後の3月15日には利用客のほとんどが帰宅し、4月3日には営業を再開。その後は、復旧・復興工事の関係者や全国から応援に来た警察官の宿泊拠点として活動を支援しました。従業員たちは不安になりながらも被災直後に全員で話し合い、「やれるところまでやってみよう」と決めていたそうです。

また、松島のシンボル五大堂のすぐ近くにある土産物屋「尾張屋」は8月6日に営業を再開。オーナーは被災直後には先行きの不安を抱えていたものの、復旧・復興工事の関係者が観光や息抜きとして訪れてくれることもあり、松島の景観で癒されたり、松島のにぎわいから元気をもらった

りしている様子を見て頑張る気持ちになったといいます。そんな松島の眺めを大切にしたいと、観光地エリアの堤防を含む復興工事では、近隣の事業者で作る商店会の皆さんで迅速な避難・誘導を心掛け、計画よりも低めの高さにしてもらえるよう要望。現在、地域の声が生かされ、松島湾を見ながら商店街を楽しんでもらえています。

F

震災講話

☎ 022-354-2618 ((一社)松島観光協会)
料 有料(要事前予約)

松島観光協会長が、町内の宿泊施設などで震災当時の様子や復興の様子をお伝えします。(一社)松島観光協会では「震災パネル展示コーナー(無料)」も実施しています。

G

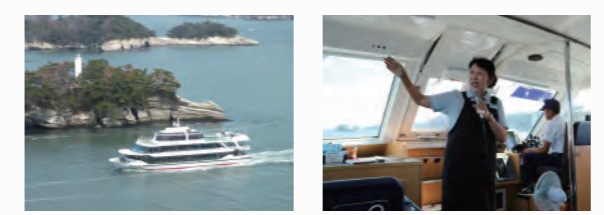
震災復興 語り部クルーズ



丸文松島汽船株式会社

🕒 40～50分	☎ 022-354-3453
休 無休(要事前予約)	料 中・高生1,050円

東日本大震災の際、地震や津波の被害を受けつつも、観光客がケガなく避難できた理由と、その時の状況、その後の復興について、松島湾を遊覧しながら案内します。語り部さんを通じ、未来へ踏み出す一歩として、人とのつながりや人の心の痛みを知ろうとすることの大切さを伝えてくれます。



語り部さんが語る話は未来に向かうための大切なことに気づかせてくれる

H

松島の人に聞いてみよう

松島高等学校観光科 交流プログラム

☎ 022-265-8722
(みやぎ教育旅行等コーディネーター支援センター)

観光科の生徒たちが授業のカリキュラムの一環で、修学旅行生に観光ボランティアガイドを行うプログラムです。同年代ならではの交流も魅力です。

I

株式会社松観(瑞巖寺・五大堂ガイド)

☎ 022-354-3218
休 無休(要事前予約)
料 有料(人数により異なる)

瑞巖寺と五大堂の観光案内を行います。地元のガイドさんによる知られざる松島の歴史は必聴。

J

松島ボランティアガイド

☎ 022-354-2618 ((一社)松島観光協会内)
休 年末年始(1週間前までの要事前予約)
料 有料(コース、人数により異なる)

日本三景松島を歩きながら、日本遺産「政宗が育んだ『伊達』な文化」をお楽しみいただけます(瑞巖寺の案内は除く)。